

## 式 辞

本日の入学式にあたり、多数のご来賓、保護者の皆様の御臨席を賜り、令和五年度 調布市立第八中学校 入学式を挙げていただけますことに、謹んで御礼を申し上げます。「新型コロナウイルス」の感染予防のため、これまで様々な面で制約がありましたが、今年度から徐々に緩和し、本日も会場の皆様には基本的にマスクの着用を求めない形で進行しております。今後、さらに伸び伸びとした教育活動を展開して参りたいと思っていますところです。

さて、新入生の皆さん、今日から皆さんは第八中学校の生徒です。勉強や運動などに打ち込む日々を過ごすことになるでしょう。ぜひ充実した中学校生活を送れるよう頑張ってください。

これからの時代は「予測困難な時代」と言われています。新しい技術が加速度的に進歩し、世の中が便利になる反面、これまで誰も予測しなかったような未知の問題に直面するだろうと言われています。そんな状況を自分ひとりの力で乗り越えるのは大変難しいことです。仲間と共に力を合わせる事が何よりも大切になります。

仲間と共に力を合わせるためには、日頃から温かな人間関係を築いていることが必要です。そこで本校では、「心理的安全性」を高めることを目標にしています。「心理的安全性」というと、難しい言葉のように聞こえますが、わかりやすく言うと、「そこにいる誰もが、自分らしく振舞うことができ、周りのみんなは、そんな自分を受け入れてくれる仲間である」という状態をいいます。

たとえば、自分が何か言ったりやったりしたとき、周りがそれをからかったり、恥をかかせてみたりしてきたという経験がある人がいるのではないのでしょうか。そして、もう二度と自分の本音を言わないようにしようと、心に蓋をしてしまった人もいるかもしれません。そんな人間関係の中にと、私たちは苦しくて、毎日が楽しくありません。

「そんなことも分からないのか」と言われたり、「あんな失敗をして、あいつはだめな奴だ」「あいつがいると邪魔なんだよな」などと、そんな言葉が出るような集団は決して良くありません。それとは逆に、「知らないことがあっても発言していいんだよ」「失敗は大目にみよう。誰だって失敗はあるさ」「ここにいる誰が欠けても、それは私たちにとってよくないことだ。一人一人みんなが必要なんだ」と、こういう言葉で結びつく仲間の中にと、心がほっとします。自分が自分らしくいていいと思えるからです。こういう状態を「心理的安全性」が高いといえます。

今年度の本校のスローガンは、「心理的安全性の高いさわやかな学校を目指して“自分らしく飾らずに”」です。この目標を達成するには、一人の力だけではできません。集まった全員が、同じ気持ちでいることが必要です。新入生の皆さん、今日から第八中学校の生徒として、誰かをおとしめたり傷つけたりせず、いつも相手のことを思いやり、素晴らしい集団を作って、毎日を楽しみ過ごしていきましょう。先生たちはいつでも応援しています。

最後になりましたが、保護者の皆様、あらためてお子様の御入学、おめでとうございます。本日より大事なお子様をお預かりいたします。本校の教職員全員でお子様を励まし、いつくしみ、立派な社会の一員となるよう導く努力をいたします。誠意を持って指導にあたることを誓いまして、式辞にかえさせていただきます。

令和五年四月七日

調布市立第八中学校 校長 馬場 誠